

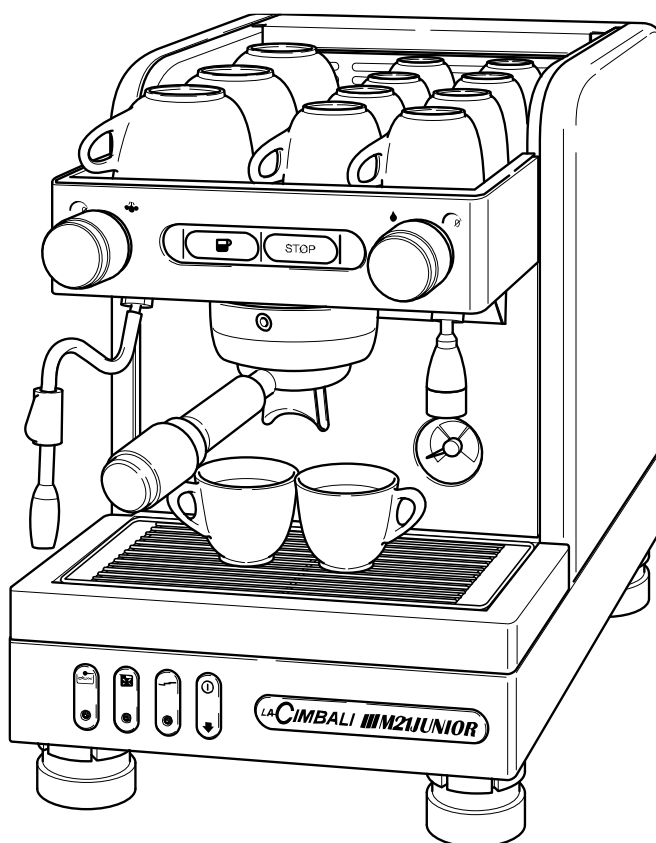
エスプレッソコーヒーマシン 【ラ・チンバリ】

LA CIBALI

取扱説明書

お客様用

型式：M21JU-S/1
(業務用)



このたびは、当社のエスプレッソコーヒーマシンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

据付説明付

もくじ



安全上のご注意	1～7	据え付けについて	39～46
各部の名称とはたらき	8・9	据付前の準備.....	39～41
使用前の準備	10～12	据付け	41
電源を入れる前に	10	軟水器の洗浄と通水.....	42・43
貯水タンクに水を入れる	10	据付後の動作確認.....	44～46
カップの保温.....	10	仕様	48
電源の入れかた	11・12	保証書(別添付)について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間	49
各メニューの抽出のしかた	13～21		
エスプレッソコーヒーの抽出のしかた	13～16		
熱湯の出しかた	17		
蒸気の使いかた	18～21		
蒸気を使って飲料を温める	19～21		
洗浄、清掃のしかた	22～36		
洗浄と清掃の一覧	22		
営業中に随時おこなってください	23		
蒸気ノズルの洗浄	23		
終業時に毎日おこなってください	24～28		
エスプレッソ抽出器の洗浄	24～26		
蒸気ノズルの洗浄	27		
熱湯ノズルの洗浄	27		
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄	28		
貯水タンクの洗浄	29～32		
週に2～3回おこなってください	33		
本体外装の清掃	33		
1ヶ月に1度おこなってください	34～36		
軟水器の再生	34～36		
お手入れと点検	37・38		

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

警告



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水などがかかりやすい場所で使用しないこと

本体や電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

やけどや感電の恐れがあります。

警告



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりすると、引火・爆発し危険です。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本機の電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



ノズル確認

『蒸気栓つまみ』を操作するときは、蒸気ノズルがドレンプレートに向いているか確認すること

ノズル先端に人の手などがあると、誤って『蒸気栓つまみ』が回された場合、やけどの原因になります。



ノズル下ろす

蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れずに元の位置（ドレンプレートに向ける）に下ろしておくこと

誤って『蒸気栓つまみ』が回された場合、やけどの原因になります。



禁止

顔や手、または人に蒸気ノズルを向けないこと

蒸気がかかると、やけどの原因になります。



ドレンプレート

コーヒー、蒸気、熱湯を取り出す場合、必ずドレンプレート上に容器を置くこと

容器を手に持ったまま取り出すと、やけどの原因になります。



洗浄

蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること

洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



禁止

蒸気ノズルは、洗浄剤の入った希釈液に漬け置きしたまま機械の電源を切らないこと

機械内部の温度が低下したときに蒸気を出すと、機械内部に希釈液を吸い込む恐れがあり、健康障害の原因になります。



注意

ボイラータンク圧力が1.6bar以上になるときは電源を切ること

ボイラータンク圧力の適正範囲は1.0～1.4barです。
漏電、ショート、感電の原因になります。



接触禁止

蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

蒸気ノズルの金属部分に直接接触すると、やけどの原因になります。



水かけない

貯水タンクや軟水器の取り付け、取り外しのときは、本機に水がかからないようにすること

水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 警告



再度自動洗浄

洗浄中に停電が起きた、または洗浄中に誤って電源スイッチを「OFF(切)」にしてしまったなどの理由で電源が停止した場合、電源を「ON(入)」にしたあと、必ず改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」をセットして洗浄をやり直すこと

洗浄が中断された状態で、電源を「ON(入)」にし、エスプレッソコーヒーを抽出した場合、コーヒーに洗浄剤の成分が混ざり健康障害の原因になります。



禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

異常時は、本機の電源スイッチ「OFF(切)」にし、電源プラグをコンセントから抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

やけどや感電をしたり、修理に不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付けに不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりすると水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になります。



防水処置

水をこぼしてもよい所に据え付けること

使用中にミルクや湯などが周囲に飛び散り、床面などを濡らします。濡れると不都合な所には、据え付けないでください。



相談

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

凍結により給水管が破裂した場合、周囲を濡らす原因になります。凍結の恐れがある場所へ据え付けられる場合は、お買上げ店にご相談ください。

⚠ 注意



飲料水

貯水タンクに入れる水は、必ず飲料用の水を使用すること
飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器などを置かないこと
落下するとケガをしたり、水がこぼれて機械内部に入った場合、電機部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと
本機の電源スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



禁止

本体にもたれたり、乗ったりしないこと
やけどや製品転倒によるケガの原因になります。



プラグを抜く

点検するときは、必ず電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』にすること
感電、ケガの原因になります。



水入れ替え

定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること
水の腐敗から、健康障害の原因になります。



水分禁止

天板部のカップテーブルにカップを置くときは、カップの水分を十分に拭き取ること
水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります



禁止

エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないこと
やけどの原因になります。



注意

エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること
手などにかかりますと、やけどの原因になります。



注意

熱湯を出す場合は、飛び散ることがあるので注意すること
やけどする恐れがあります。



注意

蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢いよく飛び出るので注意すること
熱湯が手などにかかりますと、やけどの原因になります。

⚠ 注意



耐熱容器

飲料を温めるときの容器は、耐熱性のあるものを使用すること
熱で容器が変形や破損した場合、やけどやケガの原因になります。



冷めるまで待つ

使用中や使用直後、カップテーブル周辺は熱くなっているため、カップテーブルに触る場合は、冷めるのを待ってから触ること
冷めていない状態で触ると、やけどの原因になります。



熱湯注意

エスプレッソ抽出器と抽出容器を洗浄する際は、熱湯が手にかからないようにすること
やけどする恐れがあります。



注意

エスプレッソ抽出器の洗浄後、エスプレッソ抽出容器の中に熱湯が残っていることがありますので
手などにかからないように注意すること
やけどの原因になります。



禁止

エスプレッソ抽出器のシャワープレートを洗浄する際は、『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して、熱湯を出しながら洗浄ブラシを使って洗浄しないこと
熱湯が手などにかかりますと、やけどする恐れがあります。



専用洗浄剤

エスプレッソ抽出器の洗浄には付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」を使用すること
他の洗浄剤を使用すると、エスプレッソ抽出器、抽出容器に付着したコーヒーの成分が落ちないことがあり、腐敗すると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



熱湯注意

エスプレッソ抽出器の洗浄で、洗浄漂白剤「バブルクリーン」を使った後は、必ずすすぎ洗いをする
こと
すすぎ洗いをおこなわないと漂白剤成分が残り、健康障害の原因になります。



熱湯注意

エスプレッソ抽出容器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること
熱湯がかかりますと、やけどの原因になります。



耐熱容器

蒸気ノズルを洗浄するときの容器は耐熱性のあるものを使用すること
熱で容器が変形や破損した場合、やけどやケガの原因になります。



素手禁止

熱湯ノズルの先端部分を取り外す際に、熱湯ノズルが熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外すこと
素手でおこないますと、やけどの原因になります。



禁止

付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと
健康障害の原因になります。

⚠ 注意



洗剤保管

付属の洗剤漂白剤「バブルクリーン」は、子供の手の届かない所に保管すること
誤って口に入れたり、飲み込まれますと、健康障害の原因になります。



手袋着用

付属の洗剤漂白剤「バブルクリーン」を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること
素手で取り扱うと、手荒れの原因になります。



注意

貯水タンクの取り外しや取り付け、または洗浄するときは、突起部などに注意すること
指などを引っかけた場合、ケガの原因になります。



熱器具禁止

本機の周囲に、熱器具を置いたりしないこと
熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



プラグを抜く

1週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜くこと
発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

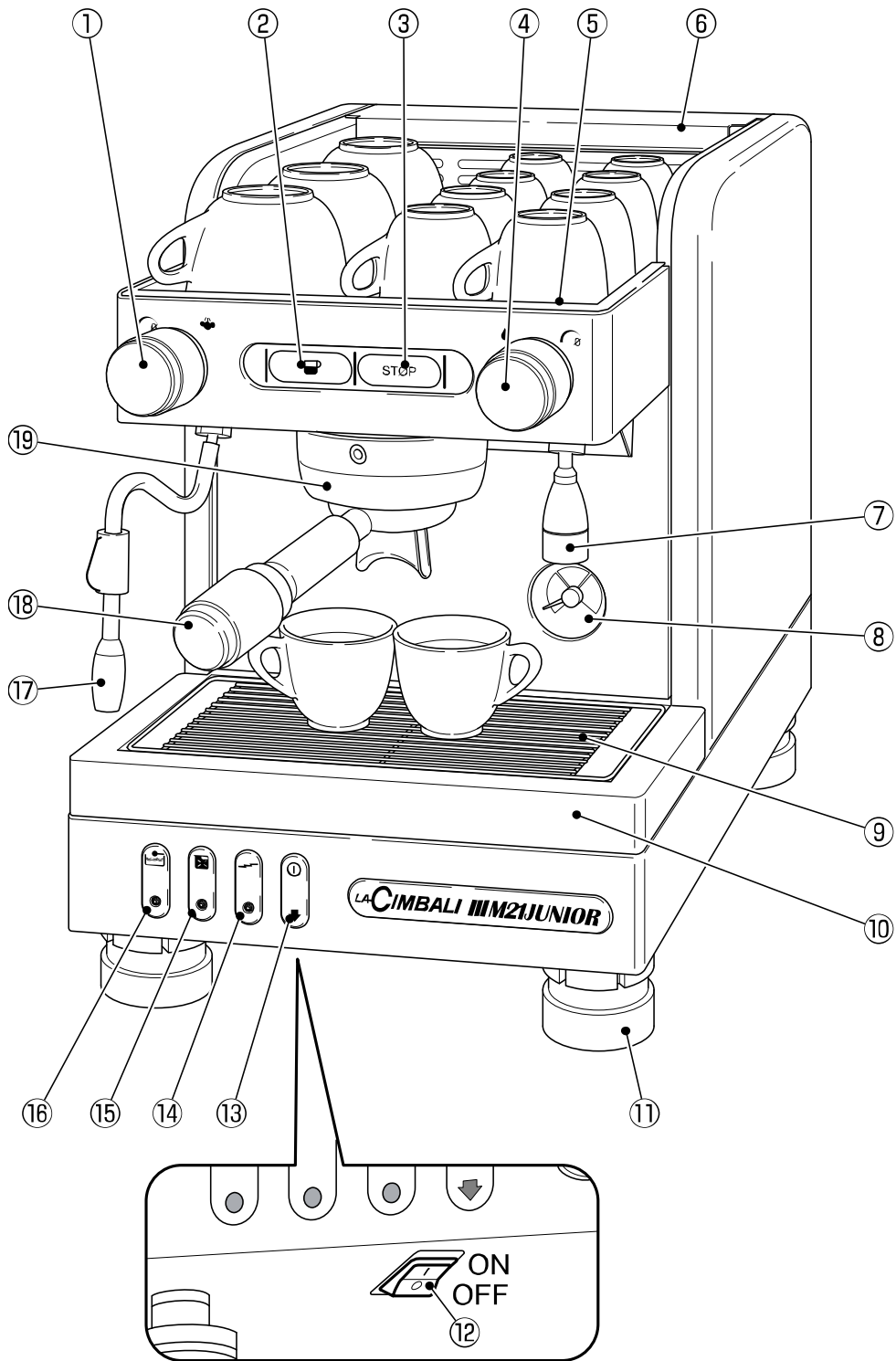


テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称とはたらき

本機は、エスプレッソを抽出するコーヒーマシンです。



- ①蒸気栓つまみ
蒸気ノズルから蒸気を出すときに回します。
- ②エスプレッソ抽出スイッチ
エスプレッソコーヒーの抽出をおこないます。
もう一度押すと止まります。
詳しくは13ページを参照してください。
- ③ストップスイッチ
エスプレッソコーヒーの抽出をおこないます。
もう一度押すと止まります。
詳しくは13ページを参照してください。
- ④熱湯栓つまみ
熱湯ノズルから熱湯を出すときに回します。
- ⑤天板部（カップテーブル）
コーヒーカップをここに置いて温めておきます。
- ⑥貯水タンク
水をここに入れます。
- ⑦熱湯ノズル
熱湯栓つまみを反時計方向に回すと、熱湯がここから出ます。
- ⑧ボイラータンク圧力計
ボイラータンクの圧力を示します。
- ⑨ドレンプレート
各メニューの抽出時にカップなどをここに置きます。
- ⑩ドレンパン
こぼれたコーヒーや熱湯などを受けます。
- ⑪アジャスト脚
本体を水平にするために調整します。
- ⑫電源スイッチ
本体の電源を「ON(入)」、または「OFF(切)」にします。
- ⑬電源スイッチ表示
電源スイッチの位置を示しています。
- ⑭電源ランプ（緑）
電源スイッチを「ON(入)」にすると、点滅します。
初期昇温が完了すると、点灯に変わります。
- ⑮貯水タンクランプ（オレンジ）
貯水タンク内の水がなくなると点灯します。
- ⑯ボイラータンク給水ランプ（赤）
ボイラータンクの給水動作中に点灯します。
給水動作を開始してから、5分以内に満水にならないと点滅に変わります。
- ⑰蒸気ノズル
蒸気栓つまみを反時計方向に回すと、蒸気がここから出ます。
- ⑱エスプレッソ抽出容器
コーヒー粉をここに入れます。
エスプレッソが抽出容器下のノズルから出ます。
- ⑲エスプレッソ抽出器
エスプレッソ抽出容器をここにセットし、エスプレッソを抽出します。

※本機は、エスプレッソコーヒーの抽出量を設定することができません。
※②のエスプレッソ抽出スイッチと、③のストップスイッチの役割は同じです。

使用前の準備

電源を入れる前に

本機の電源プラグを専用コンセントに差し込んでください

貯水タンクに水を入れる

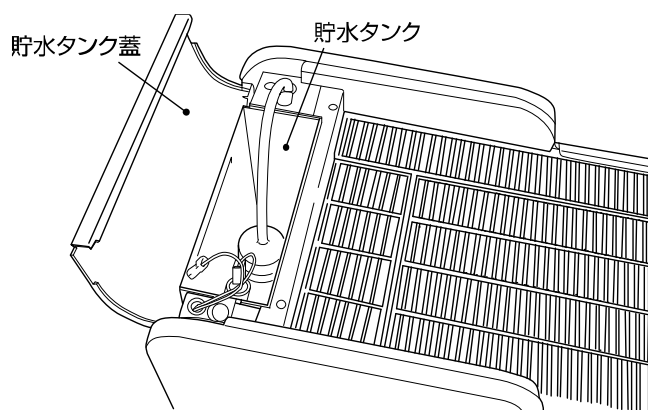
本機の貯水タンク蓋を開け、貯水タンクに3L以内の飲料水を入れてください

お願い

貯水タンクには、3L以上水を入れないでください。

3L以上水を入れると、あふれ出る原因になります。

水を入れましたら、貯水タンク蓋を閉めてください。



カップの保温

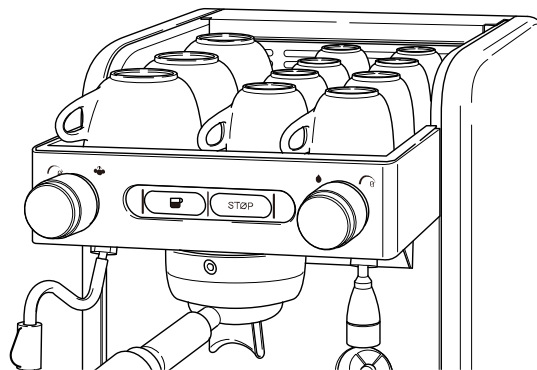
天板部のカップテーブルに保温するカップを伏せて並べてください

ボイラータンクの余熱でカップが温まります。

⚠ 注意

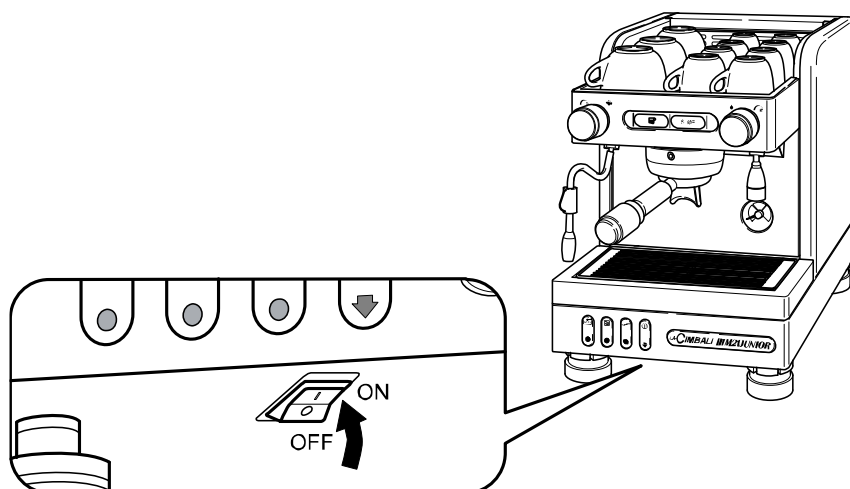


天板部のカップテーブルにカップを置くときは、カップの水分を十分に拭き取ること
水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。



電源の入れかた

1. 『電源スイッチ』を「ON(入)」にしてください



電源ランプ（緑）が点滅します。



電源ランプ（緑）

ボイラータンク内の水量が減っている場合は、ボイラータンク給水ランプ（赤）が点灯し、自動的に給水が始まります。



ボイラータンク給水ランプ（赤）

適量範囲まで給水されれば、ボイラータンク給水ランプは消灯し、自動的にヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かします。

初期昇温が完了すると、電源ランプ（緑）は点灯に変わります。

メモ

給水動作を開始してから、5分以内にボイラータンクが満水にならないと、ボイラータンク給水ランプ（赤）が点滅し、給水動作が停止します。

ボイラータンク給水ランプ（赤）が点滅しているときは、軟水器に詰まりがないかを確認してから、再度電源スイッチを入れ直してください。

電源スイッチを入れ直した後、シリコンチューブ内に入った空気を抜くために、『エスプレッソ抽出スイッチ』を押してエスプレッソ抽出器から水が十分に出てくるまで水を出してください。

繰り返しランプが点滅する場合は、お買い上げ店へご連絡ください。

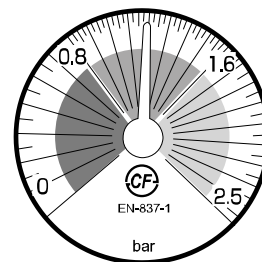
お願い

電源を入れたときや使用中に、貯水タンクランプ（オレンジ）が点灯したときは、貯水タンク内の水が空になっていますので、速やかに貯水タンクに水（3L以内）を入れてください。

貯水タンクランプ（オレンジ）が点灯している状態で、熱湯や蒸気を使用しますと、ボイラータンクが空焚きの状態になり、故障の原因になります。

ボイラータンク圧力計の指針が1.0～1.4bar程度まで上がれば準備完了です。
ボイラータンク圧力計の指針が1.0～1.4bar程度まであがるのに、約20分かかります。
(時間は目安です。水温その他の条件により異なります。)

正常使用时状態 1.0～1.4bar



警告

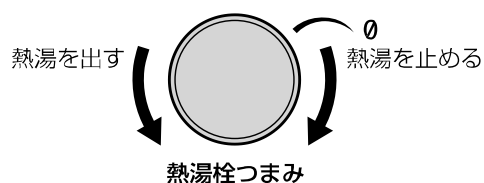


ボイラータンク圧力が1.6bar以上になるときは電源スイッチを切ること
ボイラータンク圧力の適正範囲は1.0～1.4barです。

2. 熱湯を出して、熱湯ラインに残っている前日のお湯を排出してください

熱湯ノズルを真下に向けてから、『熱湯栓つまみ』を反時計方向に回して、熱湯を出してください。

途中で止めるときは、『熱湯栓つまみ』を時計方向に回して止めてください。



注意



熱湯を出す場合は、飛び散ることがあるので注意すること
やけどする恐れがあります。

各メニューの抽出のしかた

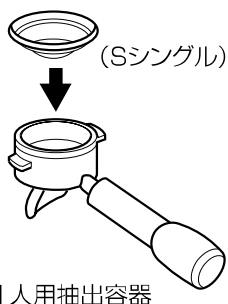
エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

1. エスプレッソ抽出容器を温めてください

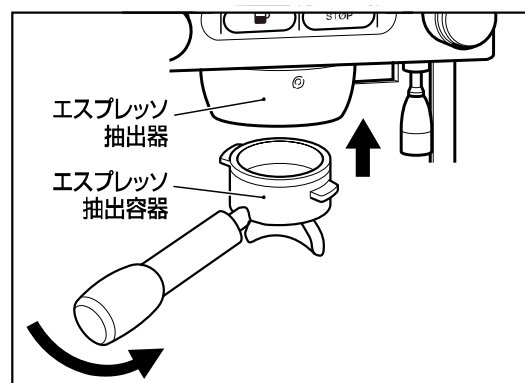
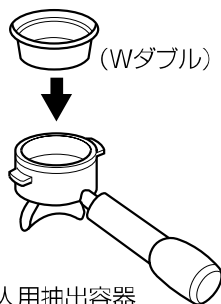
エスプレッソ抽出容器が冷たい状態で抽出をおこなうと、抽出したコーヒーがめろくなります。

エスプレッソ抽出容器は、エスプレッソフィルターを付けた状態であらかじめ抽出器にセットしてください。

1人用エスプレッソフィルター



2人用エスプレッソフィルター



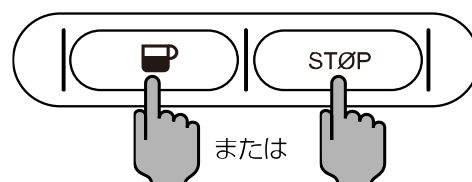
エスプレッソ抽出容器をすぐに温めたい場合

コーヒー粉を入れずに、エスプレッソフィルターを付けたエスプレッソ抽出容器を抽出器にセットしてください。

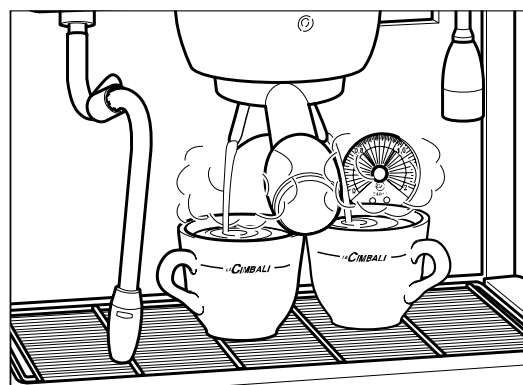
熱湯の飛び散りを防ぐためエスプレッソ抽出容器の下にカップなどを置いてください。

『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押し、熱湯を出してエスプレッソ抽出容器を温めてください。

止めるときは、再度『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押してください。



エスプレッソ抽出容器にコーヒー粉を入れる際、付着した水分を乾いた清潔な布で拭き取ってからコーヒー粉を入れてください。



⚠ 注意



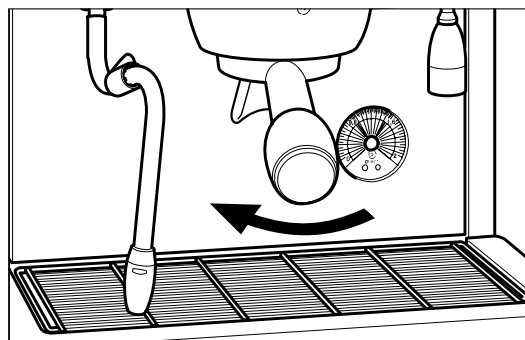
エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないことやけどの原因になります。



エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること。手などにかかると、やけどの原因になります。

2. コーヒー粉をセットしてください

エスプレッソ抽出容器の取手を持ち、時計方向に回して抽出器から外してください。



⚠ 注意



エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないことやけどの原因になります。

付属の粉計量スプーンで、エスプレッソフィルターの中に抽出杯数に合わせた量のコーヒー粉を入れてください。

	フィルター	コーヒー粉	カップ数
1人分の場合	1人用	7g	1個
2人分の場合	2人用	14g	2個

※ 粉計量スプーン1杯……約7 ~ 8g



1人用抽出容器



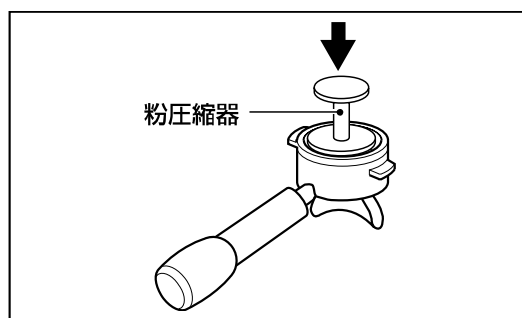
2人用抽出容器

付属の粉圧縮器でコーヒー粉を押さえて、平らにしてください。

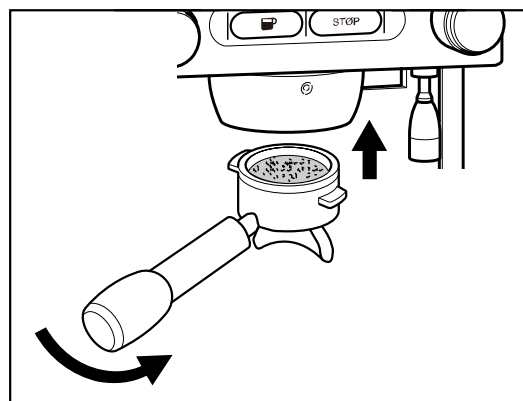
お願い

このとき、エスプレッソフィルターのふちに付いたコーヒー粉を拭き取ってください。

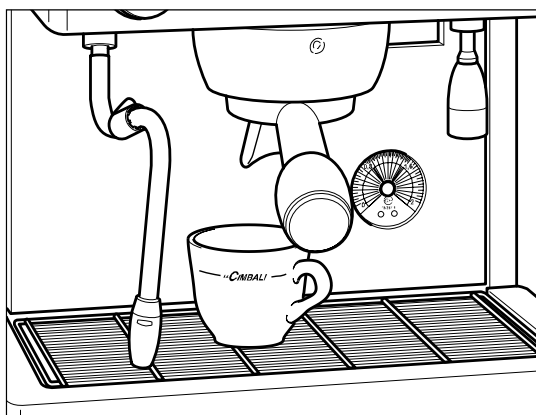
コーヒー粉がホルダーと本体との間に入ると適正な圧力がかからない可能性があります。



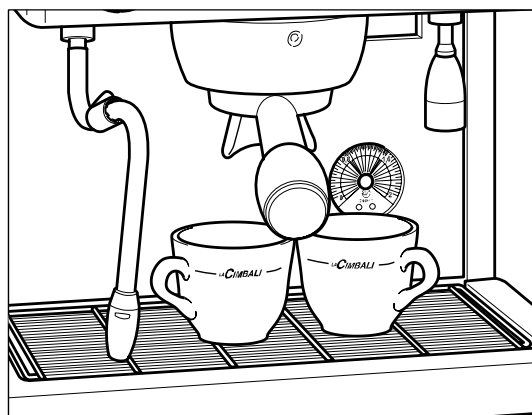
エスプレッソ抽出容器を左約40° の方向から抽出器にはめ込み、エスプレッソ抽出容器の取手が止まるまで右方向に締め込んでください。



3. エスプレッソ抽出口の下にカップをセットしてください



1人用の場合



2人用の場合

警告

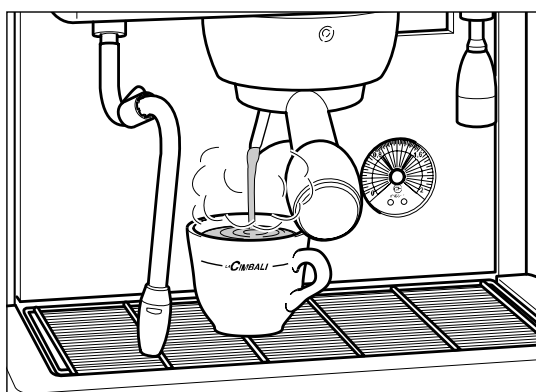
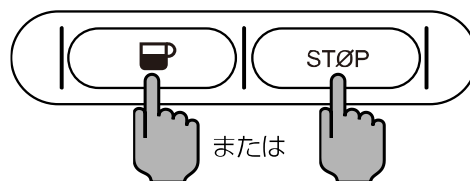


エスプレッソコーヒーを抽出する場合は、必ずドレンプレート上にカップを置くこと
カップを手を持ったままエスプレッソコーヒーを抽出すると、やけどの原因になります。

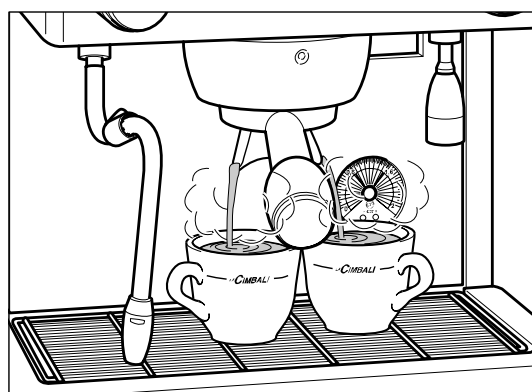
4. コーヒーを抽出してください

『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押してください。

エスプレッソコーヒーが抽出されます。



1人用の場合



2人用の場合


適量のコーヒーが抽出されましたら、『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して止めてください。

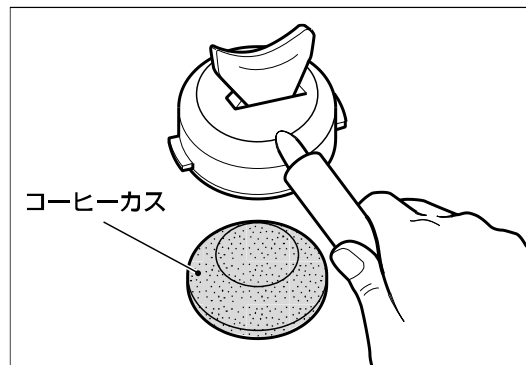
抽出後のエスプレッソ抽出容器のコーヒーカスは、すぐに捨てずに抽出容器の保温のために次の使用時までそのままにしておいてください。

エスプレッソ抽出容器を保温することができます。

5. 次の抽出をする場合は、コーヒーカスを捨ててください


エスプレッソ抽出容器を取り外し、コーヒーカスを捨ててください。

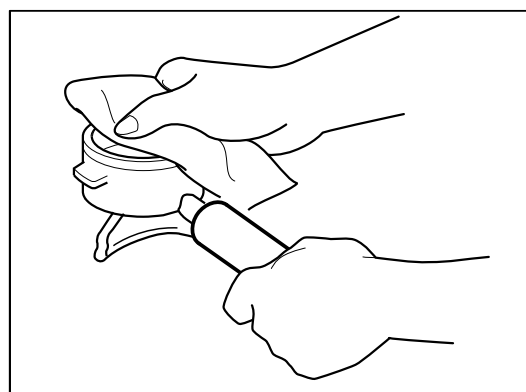
⚠ 注意	
	エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないことやけどの原因になります。



6. エスプレッソ抽出容器を清掃してください

エスプレッソ抽出容器に付着したコーヒー粉は、乾いた清潔な布で拭き取るか、付属の洗浄ブラシで取り除いてください。

⚠ 注意	
	エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること。手などにかかりますと、やけどの原因になります。



7. 次の抽出をおこなってください

コーヒー粉をセットして次の抽出をおこなってください。

熱湯の出しかた

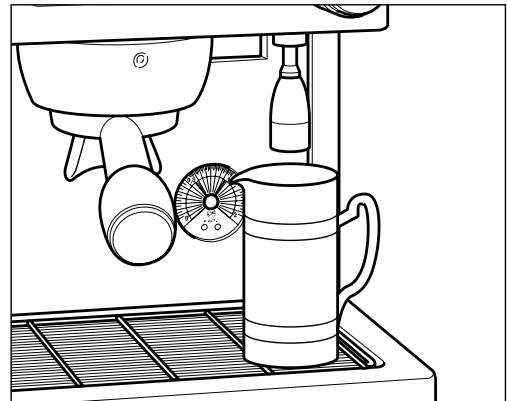
1. 熱湯ノズルの下にカップまたはポットをセットしてください

⚠ 警告

! 熱湯を出す場合は、必ずドレンプレート上にカップを置くこと
カップを手に持ったまま熱湯を出すと、やけどの原因になります。

⚠ 注意

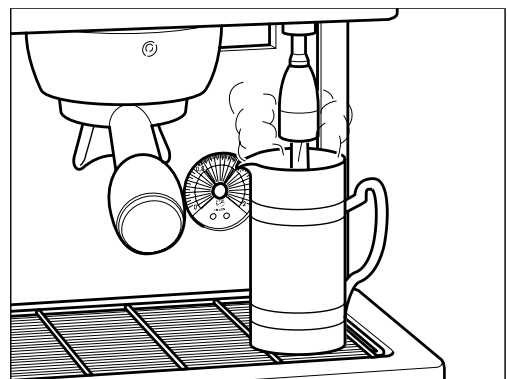
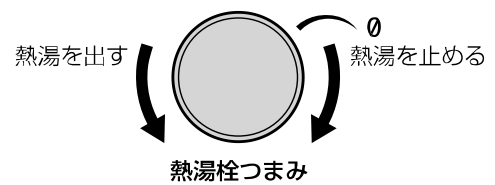
! 容器は耐熱性のあるものを使用すること
熱で容器が変形や破損した場合など、やけどやケガの原因になります。



2. 熱湯を取出してください

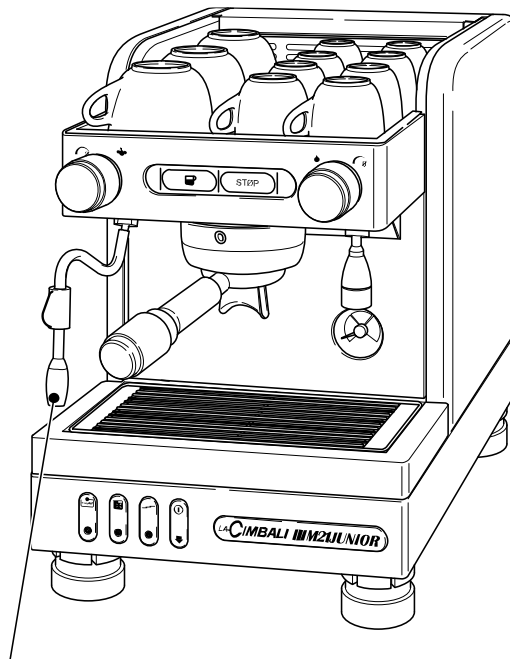
『熱湯栓つまみ』を反時計方向に回して熱湯を出してください。

止めるときは、『熱湯栓つまみ』を時計方向に回して止めてください。



蒸気の使いかた

本機には、蒸気ノズルが装備されています



蒸気ノズル

蒸気を出すときは以下のことに注意してください

警告



『蒸気栓つまみ』を操作するときは、蒸気ノズルがドレンプレートに向いているか確認すること
ノズル先端に人の手などがあると、誤って『蒸気栓つまみ』を回された場合、やけどの原因になります。

蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れずに元の位置（ドレンプレートに向ける）に下ろしておくこと

誤って『蒸気栓つまみ』を回された場合、やけどの原因になります。

蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること

洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接触れないこと

蒸気ノズルの金属部分に直接触れると、やけどの原因になります。

蒸気を使って飲料を温める

『蒸気栓つまみ』を操作します。

1. 蒸気を出してください

蒸気ノズルの先がドレンプレートに向いていることを確認してください。

初めに『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回して蒸気配管内の結露水（熱湯）を抜いてください。

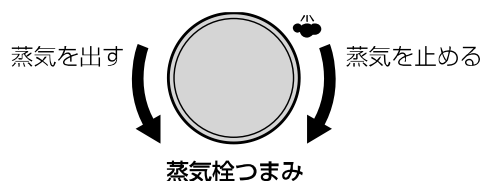


⚠ 注意



蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢いよく飛び出るので、注意すること。熱湯が手などにかかると、やけどの原因になります。

蒸気が出るようになったら、いったん『蒸気栓つまみ』を時計方向に回して蒸気を止めてください。



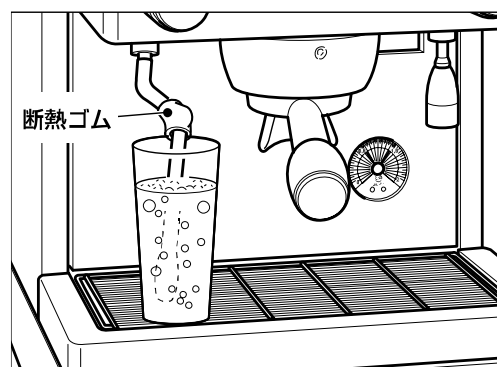
2. 飲料を温めてください

蒸気ノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。

⚠ 注意

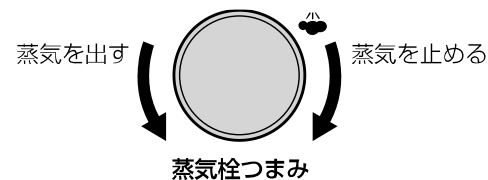


飲料を温めるときの容器は耐熱性のあるものを使用すること。熱で容器が変形や破損した場合など、やけどの原因になります。



『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回して蒸気を出してください。

素手でコップにかかるく触れながら、お好みの温度になるまで温まりましたら、『蒸気栓つまみ』を時計方向に回して蒸気を止めてください。




蒸気ノズルの断熱ゴムの部分を持って蒸気ノズルをコップから出してください。

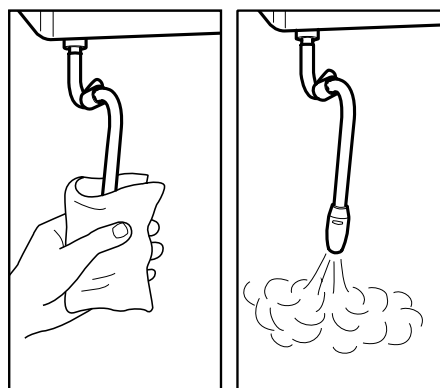
このとき、コップの取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。

3. 蒸気ノズルを清掃してください

蒸気ノズル表面に付着した飲料を清潔な布で拭き取ってください。

⚠ 警告	
	蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること 洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

もう一度、蒸気を出してノズル内に付着した飲料を除去してください。



お願い

上記の蒸気ノズルの清掃のほか、営業中に随時、水を使って蒸気ノズルを洗浄してください。
ノズル内に残った飲料が固まると、ノズル内が詰まり、故障の原因になります。
洗浄方法については、「蒸気ノズルの洗浄」（23 ページ）を参照してください。

泡立てミルクのつくりかたの例

〈ポイント〉

ミルクポットは上部がすぼまっているものを使用します。

ミルクはよく冷えているものを使用します。

温度は手のひらで覚えるか温度計を用います。

1. ミルクポットによく冷えたミルクを入れてください

半杯分多めに入れてください。

1杯→1.5杯

2杯→2.5杯



2. 蒸気を出してください

「蒸気を使って飲料を温める」(19ページ)の手順「1.」と同様にしてください。

3. 蒸気ノズルの先端をミルクの表面より少し(3~5mm) 中に入れ『蒸気栓つまみ』を全開にしてください

『蒸気栓つまみ』を全開にしないとミルクに空気を取り入れることができず、ミルクが泡立ちません。

蒸気の勢いで水面が少しへこみ、蒸気ノズルとミルクの間に隙間ができ、そこから空気が吸い込まれます。

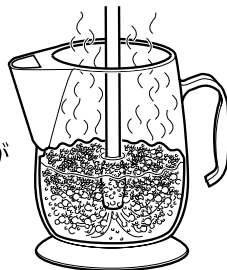
(4秒前後/2杯分)



4. 空気を抱き込んだら、蒸気ノズルの頭をミルクの中に完全に入れ、蒸気で攪拌してください

このとき、含んだ空気を蒸気が細かく分解します。

ノズルの頭が
隠れる程度



5. 63~66℃になったら、『蒸気栓つまみ』を閉じてください

素手でかるくミルクポットに触れ、熱くて触れられないくらいの温度になったら出来上がりです。

ミルクポットから蒸気ノズルを抜いてください。



6. この段階ではミルク内に大きな泡を含んでいますので、ミルクポットを回し、テーブルなどにミルクポットの底を「コンコン」と当てて、大きな泡を消してください

7. 泡立ちミルクをつくった後は、「蒸気を使って飲料を温める」(19ページ)の手順「3.」と同様に蒸気ノズルを清掃してください

洗浄、清掃のしかた

洗浄と清掃の一覧

本機は、必ず以下の洗浄と清掃をおこなう必要があります

洗浄と清掃をしないと、機械内部に残ったコーヒーやミルクが腐敗し雑菌が繁殖して、健康障害の原因になります

機械の故障や抽出されるコーヒーの品質が一定しない原因にもなります

営業中に随時 おこなってください	蒸気ノズルの洗浄 (23ページ参照)
終業時に毎日 おこなってください	エスプレッソ抽出器の洗浄 (24～26ページ参照) 蒸気ノズルの洗浄 (27ページ参照) 熱湯ノズルの洗浄 (27ページ参照) ドレンプレート、ドレンパンの洗浄 (28ページ参照) 貯水タンクの洗浄 (29～32ページ参照)
週に2～3回 おこなってください	本体外装の清掃 (33ページ参照)
1ヶ月に1度 おこなってください	軟水器の再生 (34～36ページ参照)

営業中に随時おこなってください

蒸気ノズルの洗浄

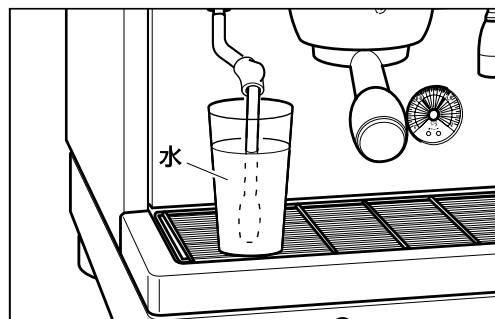
ミルク等の飲料を蒸気ノズルを使用して温めたときは、使用したノズルを洗浄してください。

1. 蒸気ノズルの洗浄の準備をしてください

蒸気ノズルの先を約200mLの水を入れた取手付の容器（耐熱性）の底まで入れて、ドレンプレートの上に置いてください。

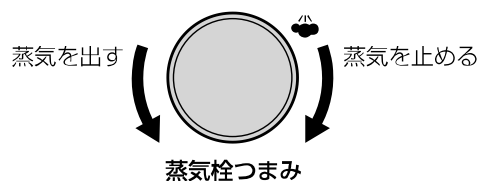
⚠ 注意

! 蒸気ノズルを洗浄するときの容器は耐熱性のあるものを使用すること
熱で容器が変形や破損した場合、やけどやケガの原因になります。

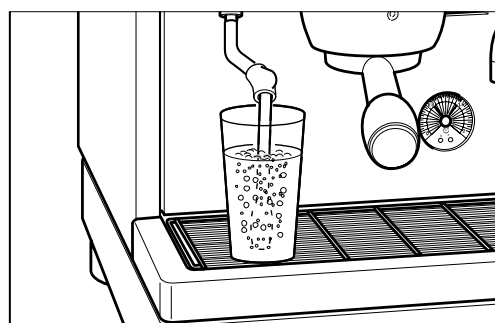


2. 蒸気ノズルの洗浄をおこなってください

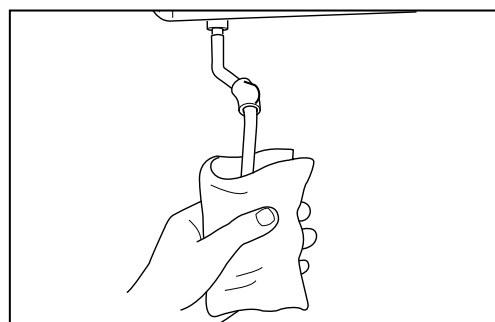
- 1) 『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回してください。
蒸気により、ノズル先端に残った付着液を洗浄します。



- 2) 蒸気が出始めて10秒程度たったら蒸気を止めてください。
- 3) ノズルの断熱ゴムの部分を持ってノズルを容器から出してください。
このとき、容器の取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。



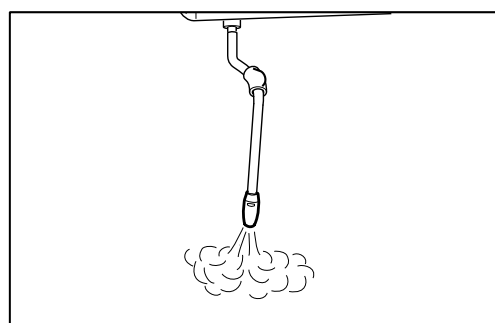
- 4) ノズル表面を清潔な布などで拭いてください。



- 5) 蒸気を2秒程出して、ノズル内の水分を除去してください。

⚠ 警告

⊘ ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと
やけどの原因になります。



終業時に毎日おこなってください

ここでは、終業時に必ずおこなう洗浄について説明します
終業時の洗浄には、「エスプレッソ抽出器の洗浄」、「蒸気ノズルの洗浄」、「熱湯ノズルの洗浄」、「ドレンプレート、ドレンパンの洗浄」があります

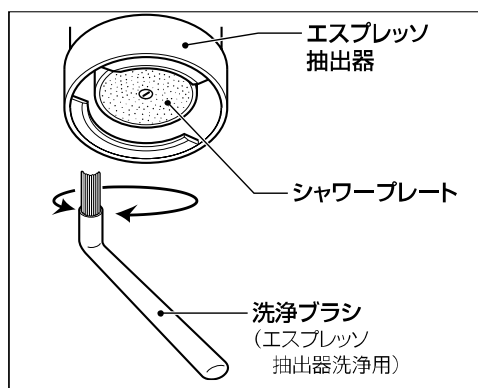
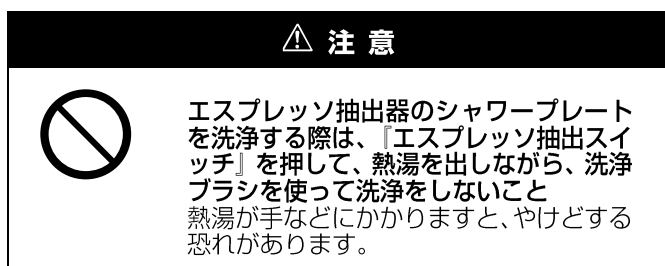
エスプレッソ抽出器の洗浄

1. エスプレッソ抽出容器を本体から外してください

エスプレッソ抽出容器にコーヒークスが残っていれば捨ててください。

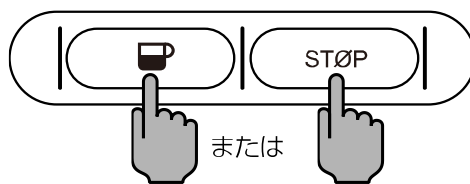
2. シャワープレートを予備洗浄してください

- 1) 付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒークスを取り除いてください。



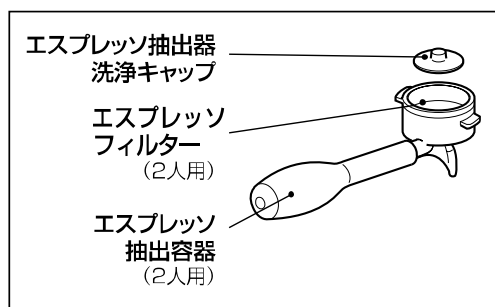
- 2) 『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。

止めるときは、もう一度『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押してください。

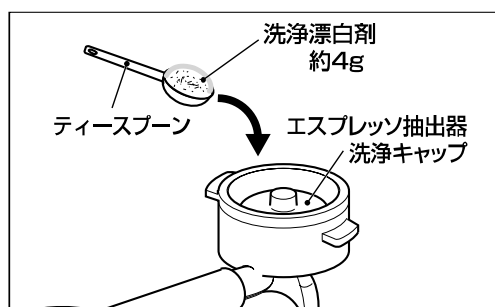


3. エスプレッソ抽出器内部を洗浄する準備をしてください

- 1) エスプレッソ抽出容器 (2人用) に2人用のエスプレッソフィルターをセットしてください。
- 2) エスプレッソフィルターの中に、付属のエスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。



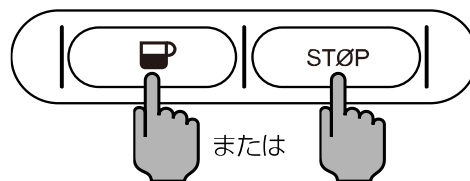
- 3) 洗浄漂白剤「バブルクリーン」約4g (お手持ちのティースプーン山盛り1杯) を洗浄キャップの上に入れてください。



4. エスプレッソ抽出器内部を洗浄してください

1) 洗浄漂白剤を入れたエスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器にセットしてください。

2) 『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して熱湯を出してください。



3) 約5秒たったら、もう一度『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して熱湯を止めてください。
抽出された熱湯がエスプレッソ抽出器内部に逆流して、洗浄漂白剤でコーヒー粉やアクを取り除きます。

4) エスプレッソ抽出器内に残った洗浄漂白剤の成分を洗い流すために『ストップスイッチ』を押して約5秒間すすぎ洗いをしてください。

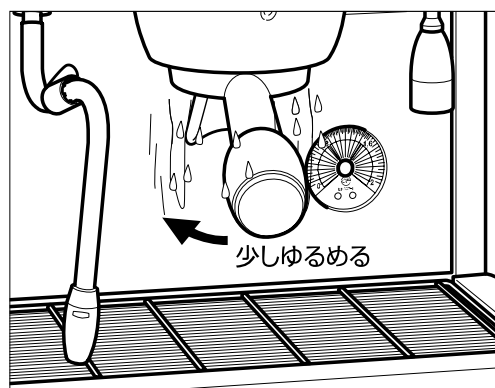
止めるときは、もう一度『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押してください。

すすぎ洗いは、洗剤成分が完全になくなるまで5~6回繰り返し熱湯を出しておこなってください。

5) エスプレッソ抽出容器を少しゆるめて、同様に『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して十分に抽出器側のすすぎ洗いをしてください。

エスプレッソ抽出容器を少しゆるめることで、パッキンについたコーヒー粉を洗い流すことができます。

このとき、エスプレッソ抽出容器が落ちないように、取手を手で持っておいてください。



⚠ 注意



洗浄漂白剤を使用して洗浄をおこなった後は、必ずすすぎ洗いすること
すすぎ洗いをおこなわないと漂白剤成分が残り、健康障害の原因になります。

メモ

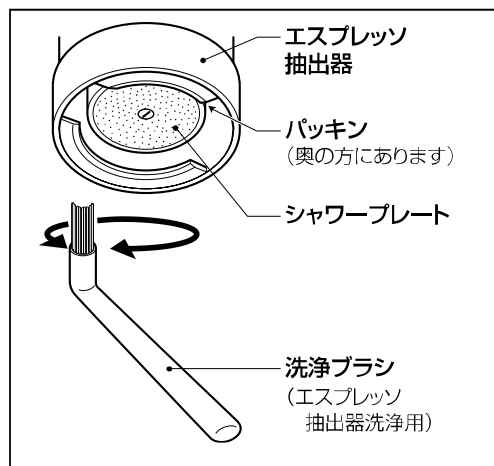
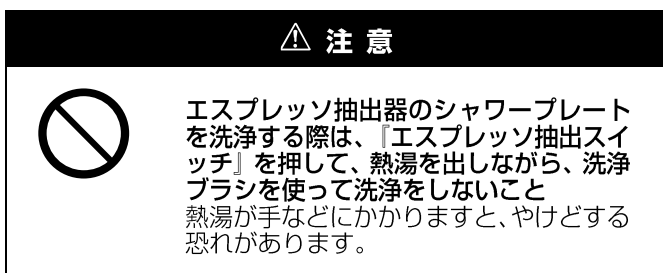
エスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットして、シャワープレート部を洗浄する際、圧力を逃がす安全装置(オーバープレッシャーバルブ)が作動します。

このとき、機械の構造上、内部より異音ができることがありますが、故障やトラブルではありませんので、使用上問題はありません。

5. エスプレッソ抽出器内のシャワープレート部を洗浄してください

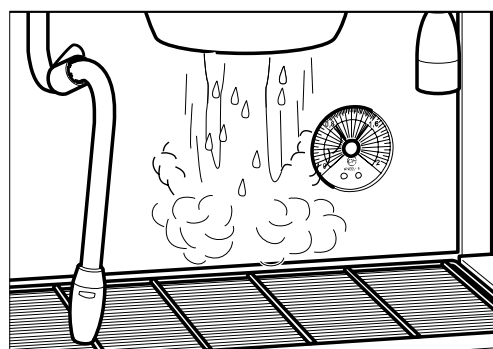
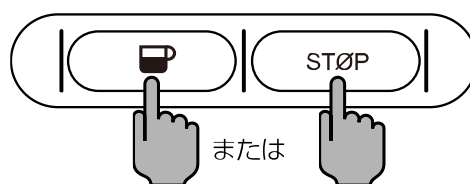
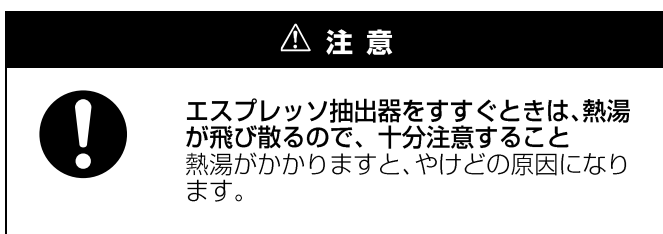
1) エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。

- 2) エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。



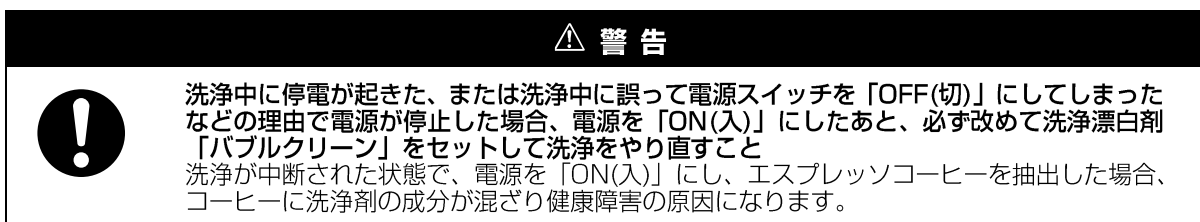
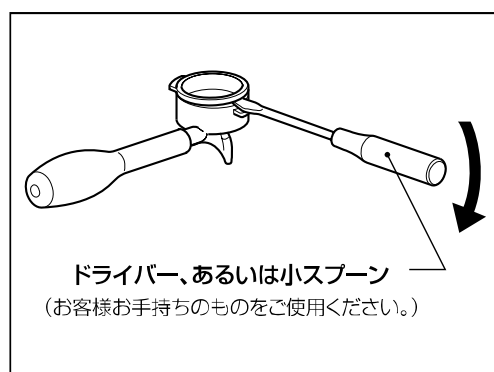
- 3) 『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、十分にすすぎ洗いをしてください。

止めるときは、もう一度『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押してください。



6. エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄してください

- 1) エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソフィルターを外してください。
(エスプレッソフィルターが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。)
- 2) エスプレッソ抽出容器、エスプレッソフィルター、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗ってください。
- 3) 洗浄後は、すすぎ洗いをし洗剤成分を完全に洗い流してください。
- 4) 乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。
- 5) 空気乾燥させてください。



蒸気ノズルの洗浄

終業時にも蒸気ノズルの洗浄をおこなう必要があります。


洗浄については、「蒸気ノズルの洗浄」（23ページ）を参照して、同じ方法でおこなってください。

熱湯ノズルの洗浄

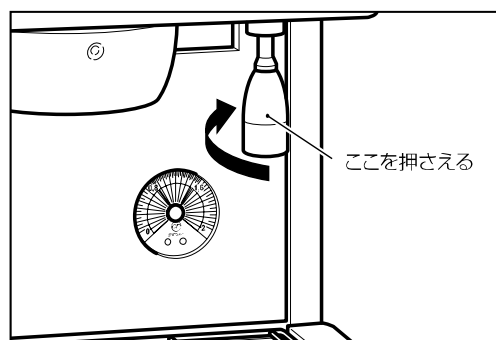
1. 熱湯ノズルの先端部分を取り外してください

熱湯ノズルの上の部分をしっかりと押さえ、熱湯ノズルの先端部分を時計方向に回して外してください。

⚠ 注意

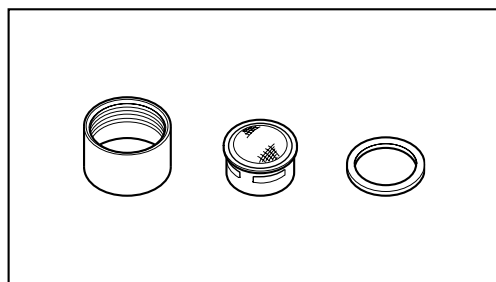


熱湯ノズルの先端部分を取り外す際に、熱湯ノズルが熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外すこと
素手でおこないますと、やけどの原因になります。



2. 各部品を洗浄してください

- 1) 先端部分の部品を分解して、水またはお湯でいねいに洗ってください。
- 2) 乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 3) 各部品を組み立て、元通りに取り付けてください。

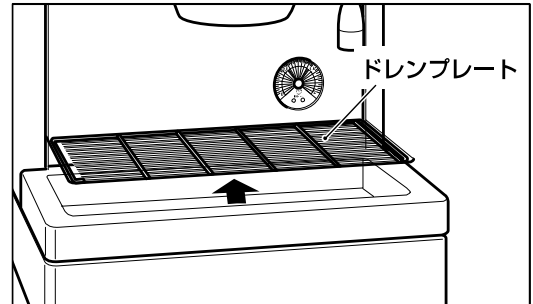


ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

1. 『電源スイッチ』を「OFF(切)」にしてください

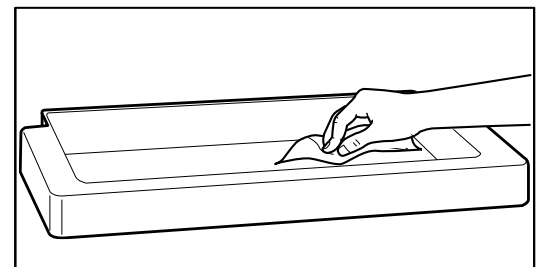
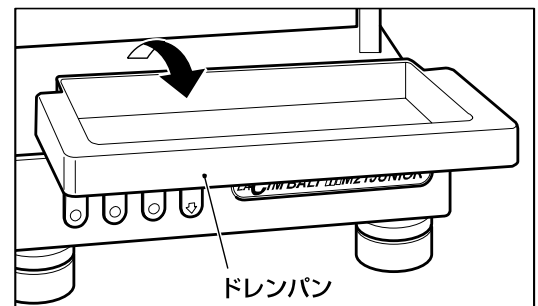
2. ドレンプレートを本体から取り外して洗浄してください

- 1) エスプレッソ抽出器からエスプレッソ抽出容器を取り外し、蒸気ノズルを上まで上げてください。
- 2) ドレンプレートを外して、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でいねいに洗ってください。
- 3) すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- 4) 乾いた布で水分を拭き取ってください。



3. ドレンパンを本体から取り外して洗浄してください

- 1) ドレンパンの手前側を持ち上げ、斜めにした状態でドレンパンを本体から取り外してください。
- 2) ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でいねいに洗ってください。
- 3) すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- 4) 乾いた布で水分を拭き取ってください。



4. ドレンパンとドレンプレートを本体に元どおりに取り付けてください

- 蒸気ノズルをドレンプレートに向けてください。
以上で終業時の清掃は終わりです。

貯水タンクの洗浄

⚠ 警告



貯水タンクや軟水器の取り付け、取り外しのときは、本機に水がかからないようにすること
水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



貯水タンクの取り外しや取り付け、または洗浄するときは、突起部などに注意すること
指などを引っかけた場合、ケガの原因になります。

メモ

軟水器の使用開始直後や、長時間使用しないで軟水器を貯水タンク内に入れたままにしておきますと、
水が少し黄色に色付く場合があります（軟水器内に入っているイオン交換樹脂が微量溶出するため）
が、人体に害はありません。

1. 『電源スイッチ』を「OFF(切)」にして、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください

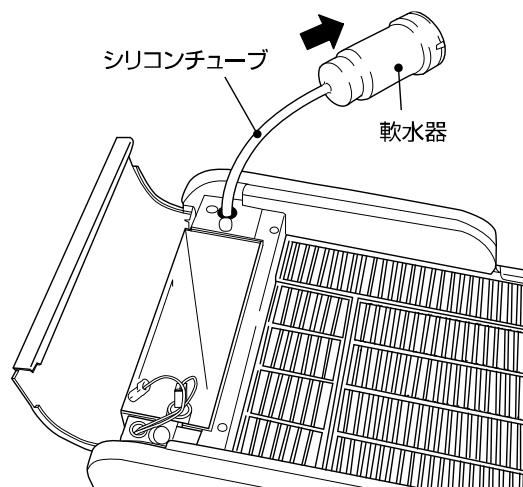
2. 貯水タンク蓋を開けて、貯水タンク内から軟水器を取り出してください

貯水タンクから軟水器を取り出し、シリコンチューブから軟水器を取り外してください。

お願い

軟水器は、濡れた状態で本機の天板部に置かないでください。

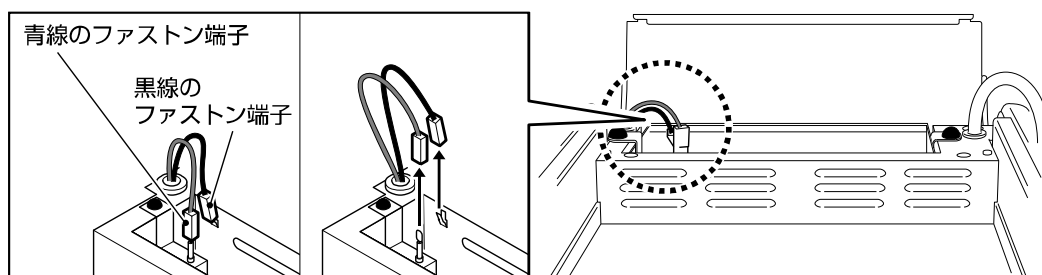
水分が機械内部に入ると、故障の原因になります。



3. 水位センサーのファストン端子を取り外してください

水位センサーに接続されている青線のファストン端子を取り外してください。

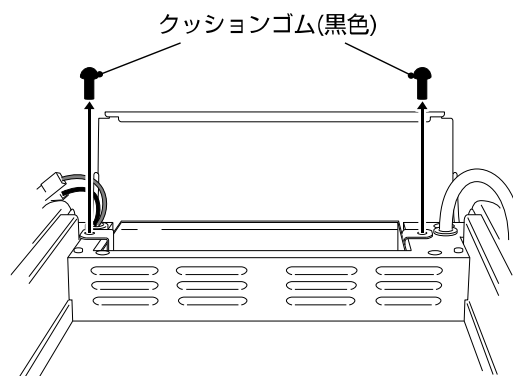
貯水タンクに接続されている黒線のファストン端子を取り外してください。



4. 2個のクッションゴム（黒色）を取り外してください

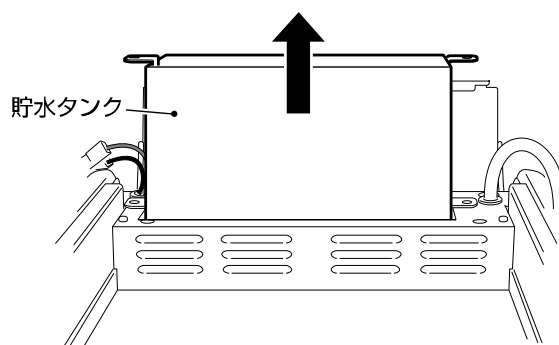
お願い

取り外したクッションゴム（黒色）は無くさないでください。



5. 本機から貯水タンクを抜き取ってください

貯水タンクは、上方向に引き抜いてください。



6. 貯水タンクと水位センサーを洗浄してください

貯水タンク内の水位センサーホルダーから水位センサーを抜き取ってください。

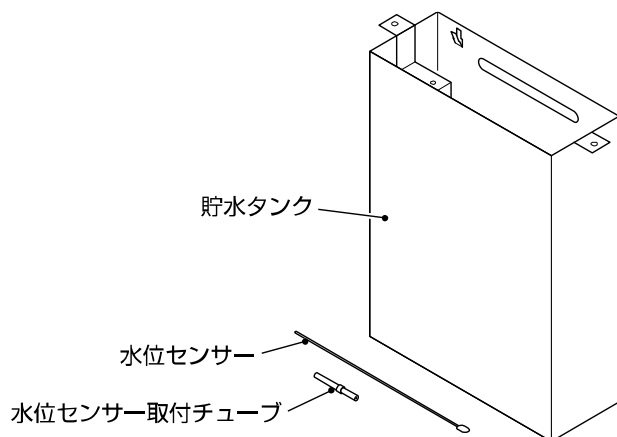
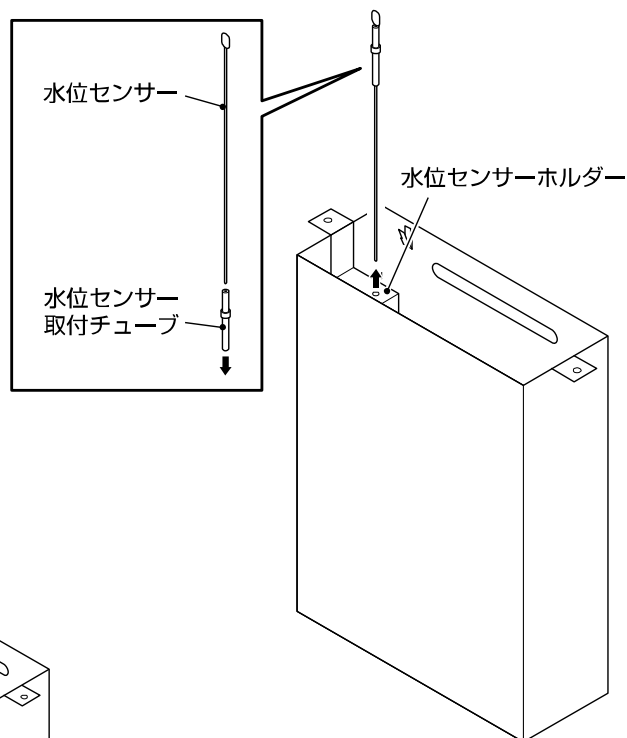
水位センサーから水位センサー取付チューブを取り外してください。

貯水タンクと水位センサーは、食器用中性洗剤などで洗浄してください。

洗浄後は、洗剤成分が残らないように水できれいすすぎ洗いしてください。

乾いたきれいな布などで、付着した水分をきれいに拭き取ってください。

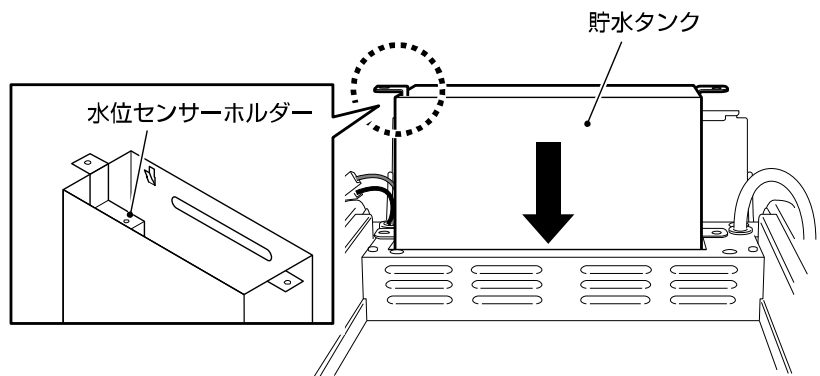
アルコール除菌剤を含ませた柔らかい布などで拭いて除菌してください。



7. 貯水タンクを本機に取り付けてください

お願い

貯水タンクは左右の向きがありますので、向きを間違えないようにして取り付けてください。
水位センサーホルダーがあるほうを左側にして、本機にはめ込んでください。



8. 貯水タンクに水位センサーを取り付けてください

お願い

水位センサーは、忘れずに必ず取り付けてください。

水位センサーが取り付けられていない状態で使用されますと、故障する原因になります。

水位センサーには、水位センサー取付チューブを忘れずに必ず取り付けてください。

水位センサー取付チューブは取り付けの向きがありますので、向きを間違えないように取り付けてください。

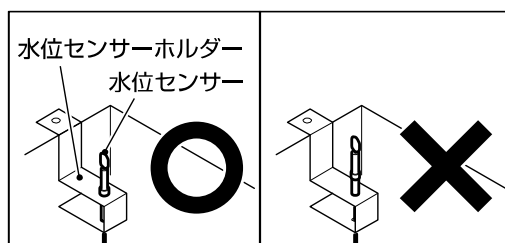
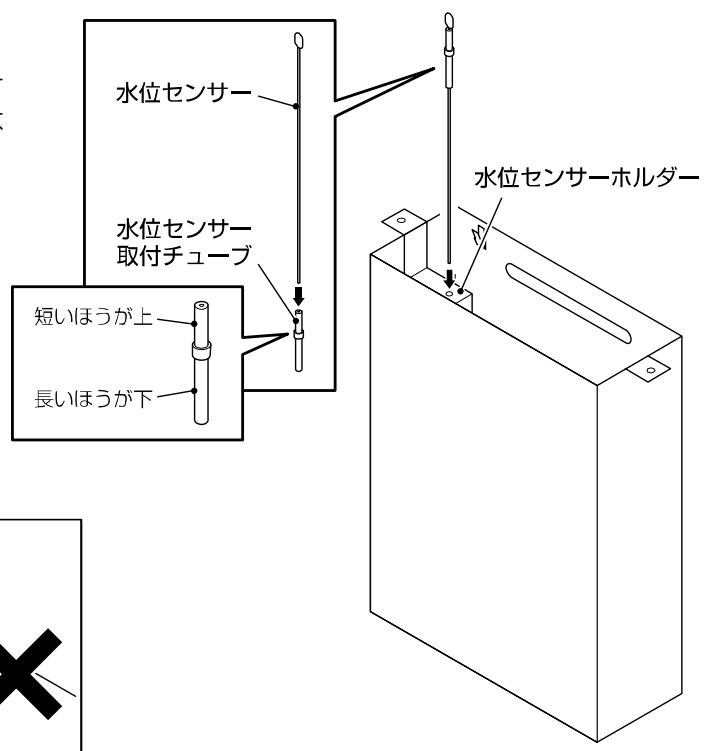
水位センサー取付チューブが取り付けられていなかったり、向きを間違えていたりしますと、正しい水位を計測することができません。

水位センサーに水位センサー取付チューブを取り付けてください。

水位センサー取付チューブは、取り付ける向きがありますので、向きを間違えないでください。

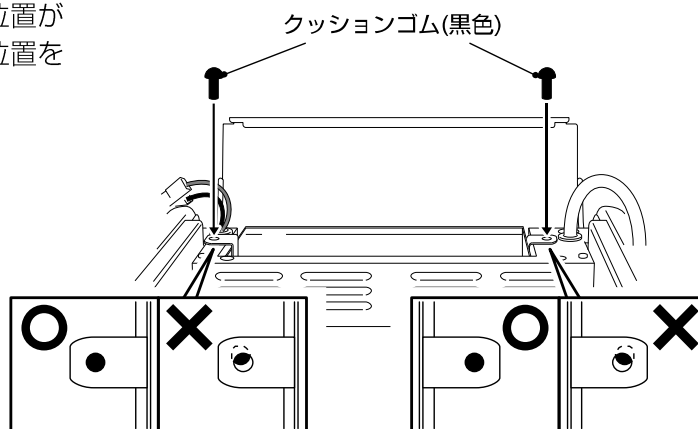
貯水タンク内の水位センサーホルダーに、水位センサーを挿し込んでください。

水位センサーは止まる場所までしっかり挿し込んでください。
水位センサーがしっかり挿し込まれていないと正しい水位を計測することができません。



9. クッションゴム（黒色）2個を取り付けて、貯水タンクを固定してください

クッションゴム（黒色）を挿し込む穴の位置がずれている場合、手で貯水タンクの穴の位置を調節してあわせてください。



10. 水位センサーのファストン端子を接続してください

青線のファストン端子を水位センサーに接続してください。

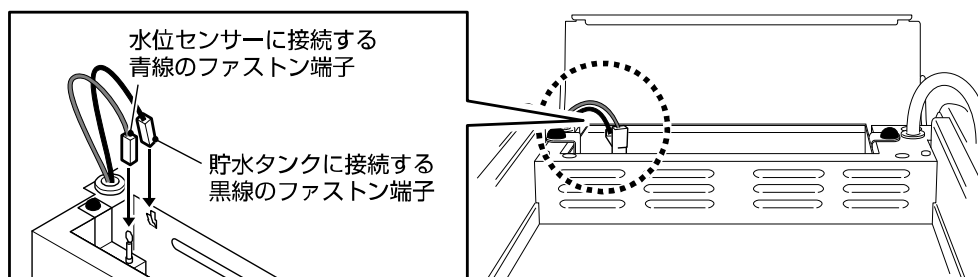
黒線のファストン端子を貯水タンクに接続してください。

お願い

各ファストン端子は、接続することを忘れないよう注意してください。

ファストン端子は、2種類ありますので、接続を間違えないようにしてください。

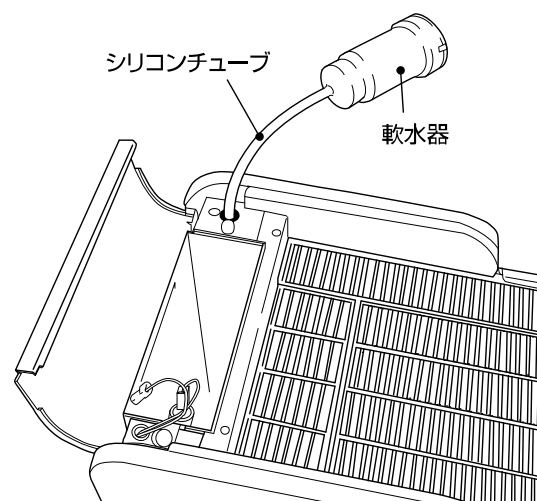
接続を間違えますと、動作不良の原因になります。



11. 軟水器を貯水タンク内にセットしてください

軟水器にシリコンチューブを接続し、軟水器を貯水タンク内に入れてください。

貯水タンク蓋を閉めてください。



以上で終業時の清掃は終わりです。

週に2～3回おこなってください

ここでは、週に2～3回、また、汚れが目立ったときにおこなう洗浄と清掃について説明します

本体外装の清掃

1. 本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布できれいに拭いてください
2. きれいな水でしぼった布で洗剤成分を拭き取ってください

警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

1ヶ月に1度おこなってください

ここでは、軟水器の再生方法について説明します。

警告



貯水タンクや軟水器の取り付け、取り外しのときは、本機に水がかからないようにすること
水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。

軟水器の再生

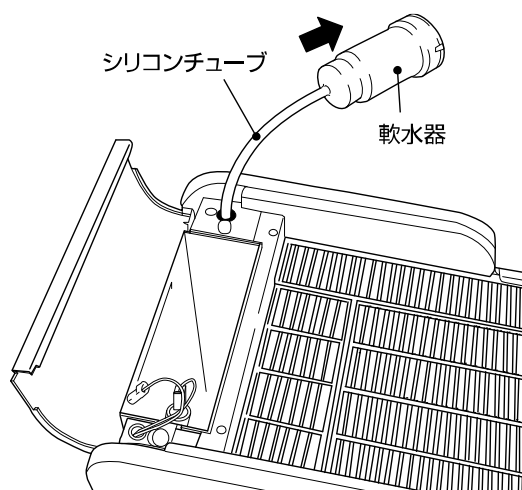
お願い

軟水器の再生は、使用頻度により異なりますが、目安として1ヶ月に1度おこなってください。

1. 『電源スイッチ』を「OFF(切)」にして、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください

2. 貯水タンク蓋を開けて、貯水タンク内から軟水器を取り出してください

貯水タンクから軟水器を取り出し、シリコンチューブから軟水器を取り外してください。



お願い

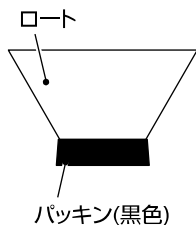
軟水器は、濡れた状態で本機の天板部に置かないでください。

水分が機械内部に入ると、故障の原因になります。

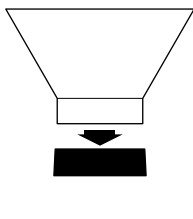
3. 軟水器に付属のロートを取り付けてください

以下の図の手順でロートを軟水器に取り付けてください。

工場出荷時は、ロートにパッキン(黒色)が取り付けられている



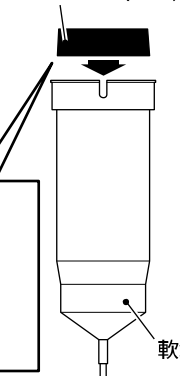
ロートからパッキン(黒色)を取り外す



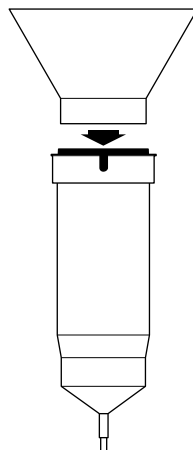
パッキン(黒色)を軟水器に取り付ける

※パッキン(黒色)の外径が大きいほうを軟水器側に向けて取り付ける

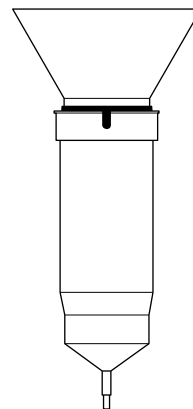
パッキン(黒色)



パッキン(黒色)にロートを取り付ける

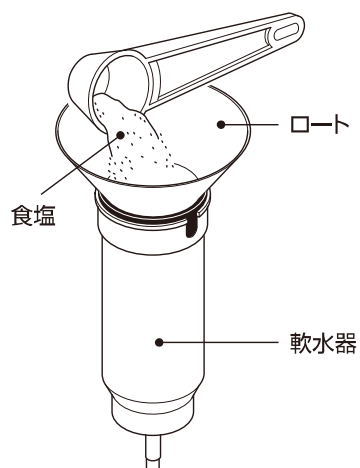


ロートをしっかりと取り付ける



3. 軟水器の再生をおこなってください

ロートの中に計量スプーンで3杯の食塩を入れてください。

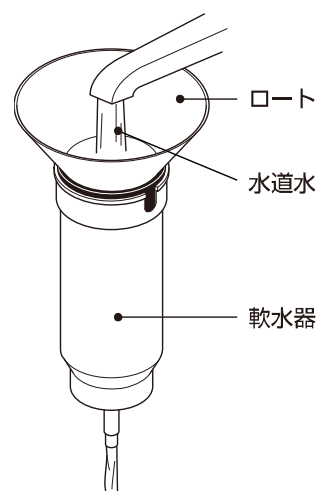


ロートの上から水道水をゆっくりと流し入れてください。

ロートと軟水器の中の食塩が無くなるまで水を流し入れ続けてください。

軟水器から出てくる水に塩味がしなくなりましたら、軟水器の再生は完了です。

軟水器からロートを取り外してください。

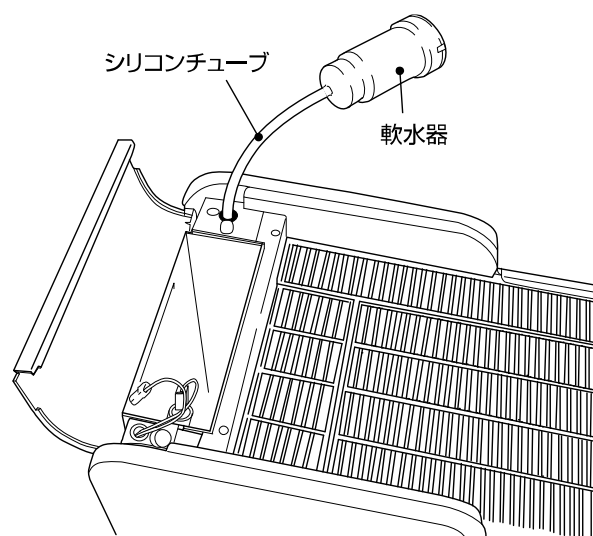


4. 軟水器を貯水タンク内に元どおりセットしてください

軟水器にシリコンチューブを接続してください。

軟水器を貯水タンク内にセットしてください。

貯水タンク内に3L以内の水を入れてください。



5. 専用コンセントに、本機の電源プラグを差し込んで、電源スイッチを「ON(入)」にしてください

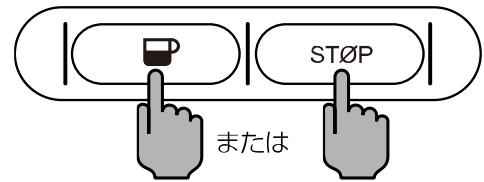
6. 軟水器に水を通してください

シリコンチューブ内に入った空気を抜くために、『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して、しばらく熱湯を出してください。

もう一度『エスプレッソ抽出スイッチ』を押して止めてください。

貯水タンクの蓋を閉めてください。

以上で軟水器の再生作業は完了です。




お手入れと点検

ここでは本機をお使いいただく上で、必要なお手入れと点検を一覧にして示しています

毎日のお手入れと点検

蒸気ノズルの洗浄	蒸気ノズルは営業中に随時、および終業時に毎日洗浄をおこなってください。 「洗浄、清掃のしかた」(23ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。
エスプレッソ抽出器の洗浄	終業時には必ずエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。 「洗浄、清掃のしかた」(24ページ)を参照して、エスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。
熱湯ノズルの洗浄	熱湯ノズルは、終業時に毎日洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」(27ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄	ドレンプレート、ドレンパンは、終業時に毎日洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」(27ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。
貯水タンクの洗浄	貯水タンクは、取り外して洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」(29ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。

週に2~3回のお手入れ

本体外装の清掃	本体の外装は、中性洗剤を使用し、柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。 <div style="text-align: center;"><p>⚠ 警告</p><p> 本体に直接水をかけないこと 漏電、ショート、感電の原因になります。</p></div>
---------	---

定休日明けのお手入れ

水の入れ替え	定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えてください。 ボイラータンク内の水の入替のしかた 1) 『熱湯栓つまみ』を回して、熱湯を取り出して廃棄してください。 2) 『蒸気栓つまみ』を回して、約1分間蒸気を排出してください。
--------	---

1ヶ月に1度おこなってください

軟水器の再生	軟水器は、1ヶ月に1度再生してください。 「洗浄、清掃のしかた」(34ページ)を参照して、軟水器の再生をおこなってください。
--------	---

1ヶ月に1回点検

漏電遮断器動作確認	漏電遮断器は、1ヶ月に1回動作確認をおこなってください。 1) 漏電遮断器のテストボタンを指先などで押してください。 2) 「OFF(切)」に切り換わるか確認してください。 切り換われば正常です。 レバーが「OFF(切)」に切り換わらない場合は、そのままの状態ですぐにお買上げ店へご連絡ください。 3) 正常な場合は「ON(入)」にしてください。
-----------	--

1年に1～2回の点検

軟水器の交換	半年から1年ごとに軟水器を交換してください。 軟水器の注文と交換のしかたは、お買上げ店におたずねください。
アース線の点検	アース線は、切れたり接続部がゆるんだりしていないか点検してください。 異常がある場合は、電気工事店に修理を依頼してください。
電源コードの点検	電源コードに異常な発熱や破損、重い物が乗ったり、挟み込まれたりしていないか点検してください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。 電源プラグの刃と刃の取付面、およびコンセントにほこりが付いていないか点検してください。 ほこりが付いている場合は、清掃してください。

据え付けについて

ここでは、本機の据え付けについて説明します

据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付場所

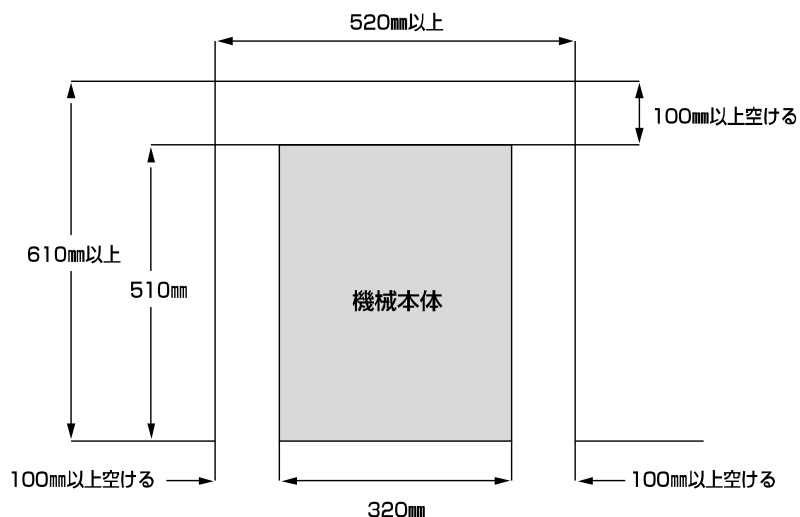
据付台の下には、浄水器、配管設備のスペースを確保してください

目安として、機械本体と同等のスペース（面積）を確保してください。

機械の周辺は、壁面から100mm以上離してください

熱がこもると電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

据付図

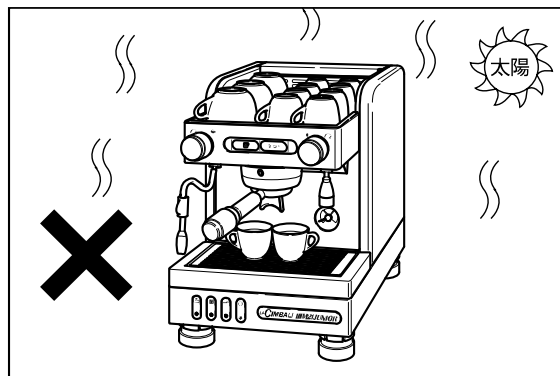


直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が32°Cを超える高温の場所には据え付けしないでください

高温になると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないでください

熱で本体が変形したり、電気部品に影響をおよぼして故障の原因になります。

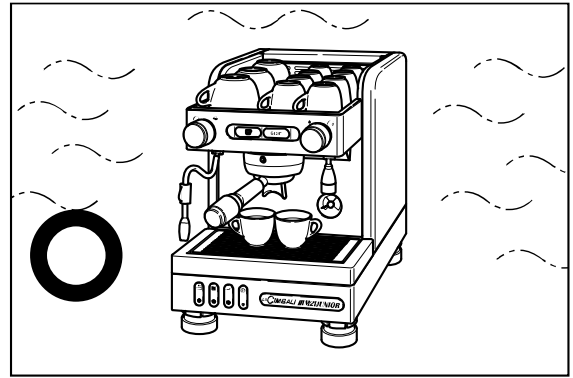


風通しの良い所に据え付けてください

風通しが悪いと蒸気がこもり、機械の寿命を短くしたり、漏電の原因になります。

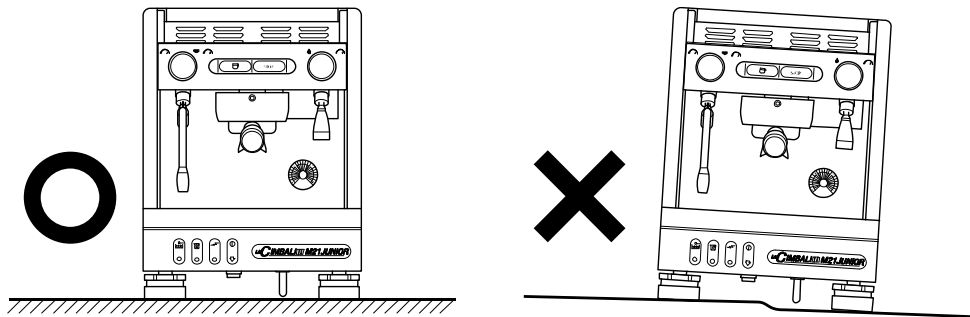
水をこぼしてもよい所へ据え付けてください

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に散ることがありますので、濡れると不都合なところには、据え付けしないでください。

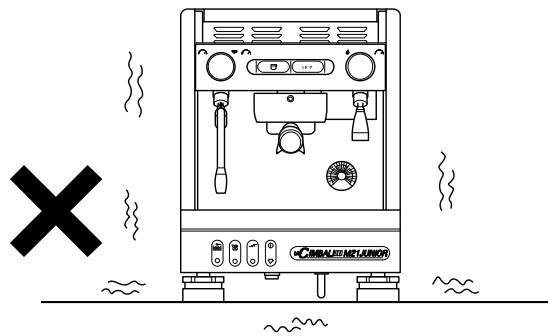


凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください

丈夫で凹凸のない、水平な台へ据え付けてください



振動のない所へ据え付けてください



電源

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

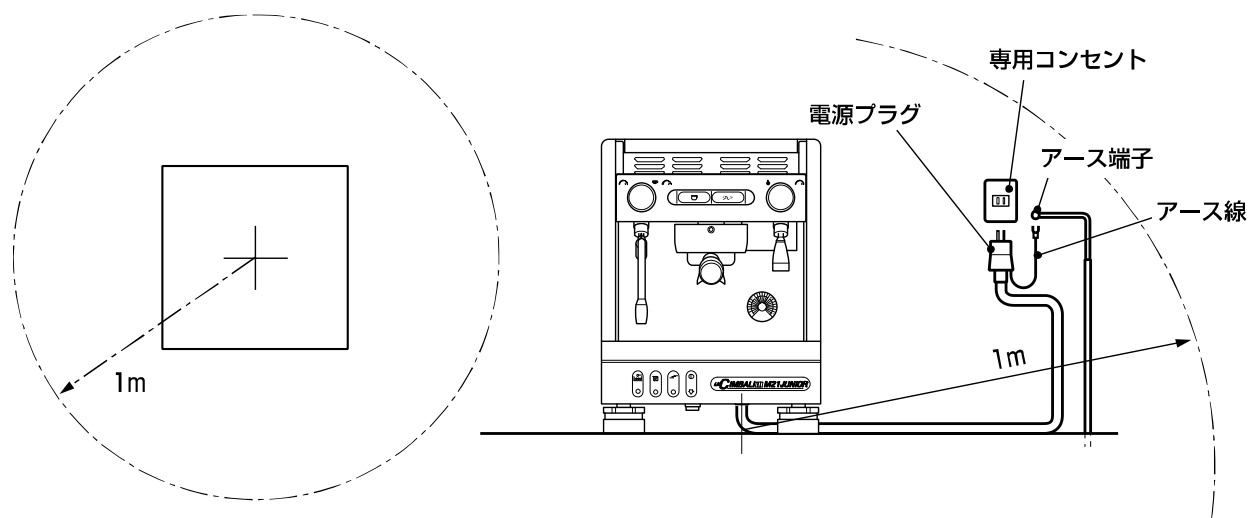
電気容量

	100V (50/60Hz)
M21JU-S/1	1.1kVA 11A

本機の電源は、必ず専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続してください

本機は、電源に近いところ（できれば1m以内）に据え付けてください

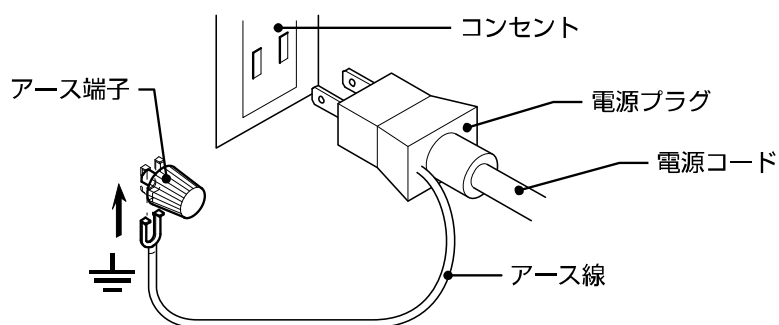
電源コードの長さ：約2m



据付け

配線

1. アース線（緑/黄色の線）を設備側のアース端子に接続してください
2. ご使用の際は、本機の電源プラグを専用コンセントに差し込んでください



軟水器の洗浄と通水

本機を据え付けた後は、以下の手順で軟水器内に水道水を十分に通して洗浄してください。

お願い

必ずご使用前に軟水器内の洗浄と通水をおこなってください。

軟水器内に付着したゴミやホコリなどにより、機械故障の原因となることがあります。

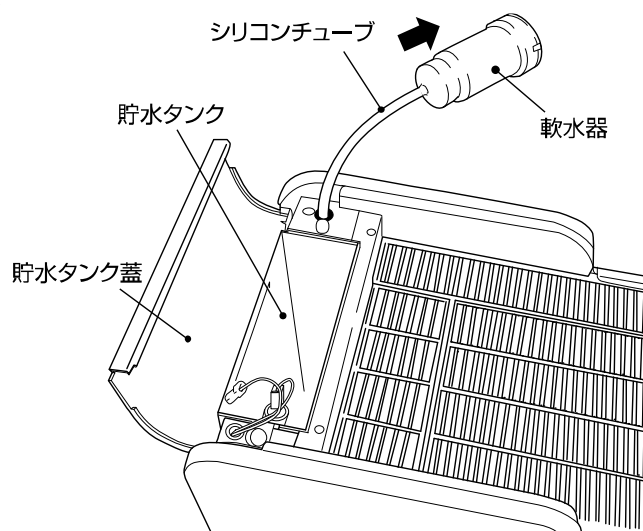
本機は工場出荷時、軟水器内を乾燥させています。

据付け後、軟水器に水を通さずに貯水タンク内に水を入れて『電源スイッチ』を「ON(入)」にしても、軟水器が水を吸い上げないことがあります。

以下の作業は、据付け後、またはご使用前に必ず通水をおこなってください。

1. 本機の貯水タンク蓋を開けて、貯水タンク内の軟水器を取り出してください

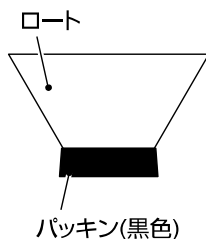
シリコンチューブから軟水器を取り外してください。



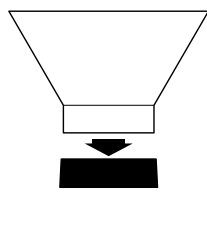
2. 軟水器に付属のロートを取り付けてください

以下の図の手順でロートを軟水器に取り付けてください。

工場出荷時は、ロートにパッキン(黒色)が取り付けられている

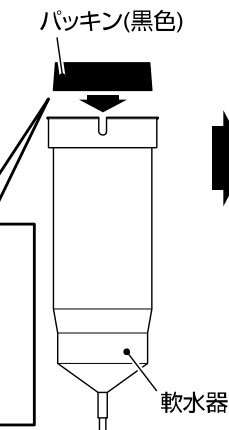


ロートからパッキン(黒色)を取り外す

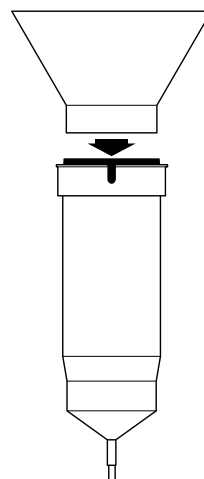


パッキン(黒色)を軟水器に取り付ける

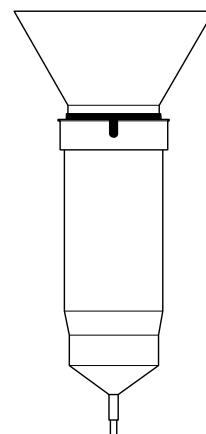
※パッキン(黒色)の外径が大きいほうを軟水器側に向けて取り付ける



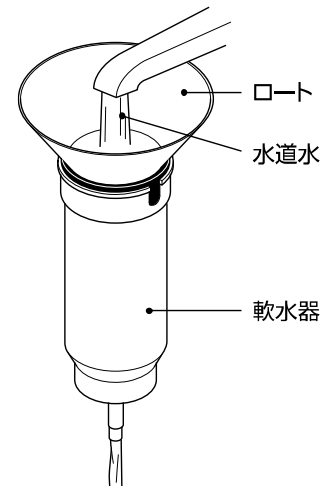
パッキン(黒色)にロートを取り付ける



ロートをしっかりと取り付ける



3. ロートの上から軟水器内に水道水を流し入れて、軟水器内のゴミやホコリを十分流し出してください



4. 十分に洗浄できましたら、軟水器からロートとパッキン(黒色)を取り外してください

お願い

ロートとパッキン(黒色)は、捨てたり、無くしたりしないでください。
軟水器の再生をおこなうときにも使用いたします。
「軟水器の再生」(34ページ)を参照してください。

5. 軟水器にシリコンチューブを接続し、軟水器を貯水タンク内に納めてください

お願い

貯水タンク内に未だ水を入れない場合は、貯水タンクの蓋を閉めておいてください。
貯水タンク蓋を開けたままにしますと、ホコリや虫などが貯水タンクに入る原因になります。

据付後の動作確認

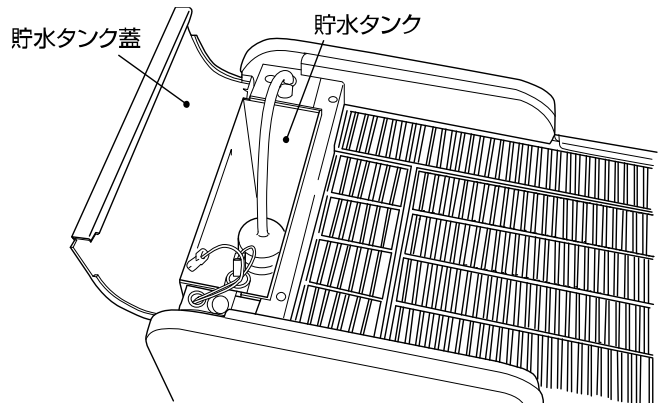
1. 本機の貯水タンク蓋を開け、貯水タンクに3L以内の飲料水を入れてください

お願い

貯水タンクには、3 L以上水を入れないでください。

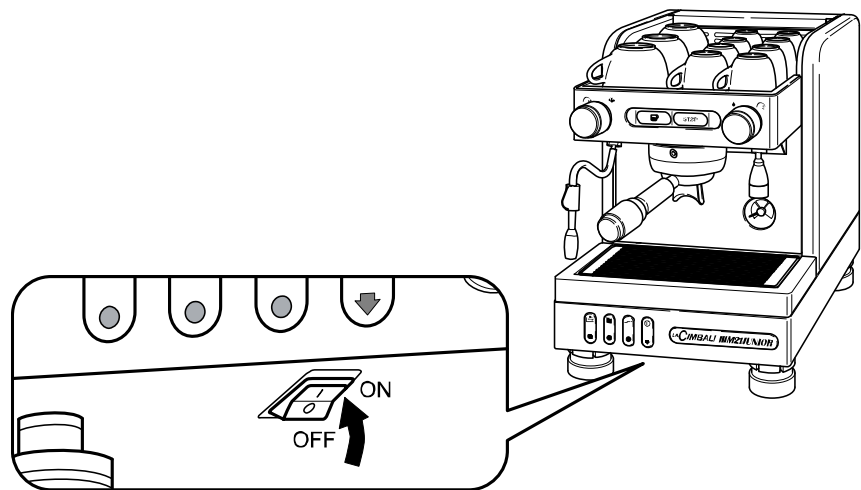
3 L以上水を入れると、貯水タンクからあふれ出る原因になります。

水を入れましたら、貯水タンク蓋を閉めてください。



2. 本機の電源プラグを専用コンセントに差し込んでください

3. 『電源スイッチ』を「ON(入)」にしてください



電源ランプ（緑）が点滅します。

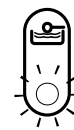


電源ランプ（緑）

ボイラータンク内の水量が減っている場合は、ボイラータンク給水ランプ（赤）が点灯し、自動的に給水が始まります。

適量範囲まで給水されれば、ボイラータンク給水ランプは消灯し、自動的にヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かします。

初期昇温が完了すると、電源ランプ（緑）は点灯に変わります。



ボイラータンク給水ランプ（赤）

メモ

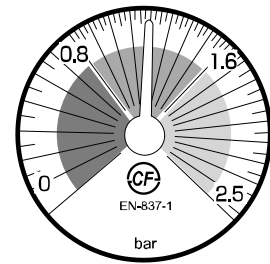
給水動作を開始してから、5分以内にボイラータンクが満水にならないと、ボイラータンク給水ランプ（赤）が点滅し、給水動作が停止します。
ボイラータンク給水ランプ（赤）が点滅しているときは、軟水器に詰まりがないかを確認してから、再度電源スイッチを入れ直してください。
電源スイッチを入れ直した後、シリコンチューブ内に入った空気を抜くために、『エスプレッソ抽出スイッチ』を押してエスプレッソ抽出器から熱湯が十分に出てくるまで熱湯を出してください。
繰り返しランプが点滅する場合は、お買い上げ店へご連絡ください。

ボイラータンク圧力計の指針が1.0～1.4bar程度まで上がれば準備完了です。

ボイラータンク圧力計の指針が1.0～1.4bar程度まであがるのに、約20分かかります。

（時間は目安です。水温その他の条件により異なります。）

正常使用时状態 1.0～1.4bar



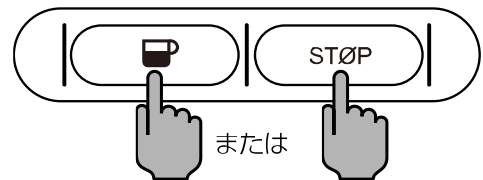
警告



ボイラータンク圧力が1.6bar以上になるときは電源スイッチを切ること
ボイラータンク圧力の適正範囲は1.0～1.4barです。

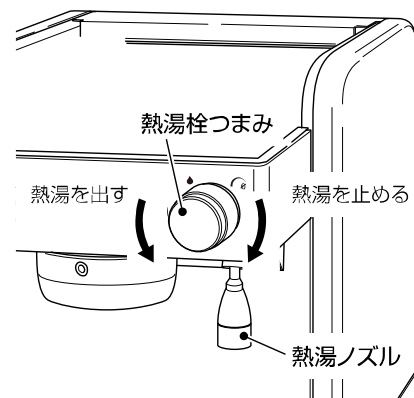
4. 『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して、エスプレッソ抽出器から熱湯が出ることを確認してください

確認後は、もう一度『エスプレッソ抽出スイッチ』または『ストップスイッチ』を押して止めてください。



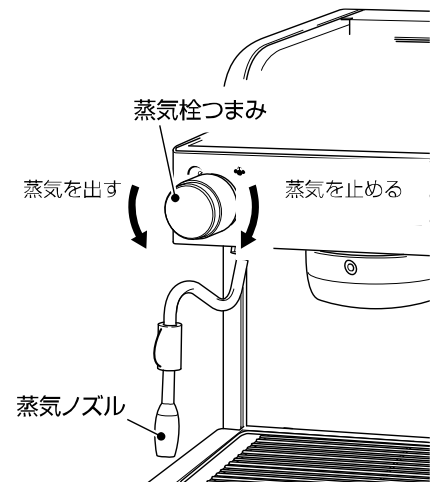
5. 『熱湯栓つまみ』を反時計方向に回して、熱湯ノズルから熱湯が出ることを確認してください

確認後は、『熱湯栓つまみ』を時計方向に回して、熱湯を止めてください。



6. 『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回して、蒸気ノズルから蒸気が出ることを確認してください

確認後は、『蒸気栓つまみ』を時計方向に回して、蒸気を止めてください。



7. 電源を切るときは、『電源スイッチ』を「OFF(切)」にし、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください

これで据付け完了です。

Lined area for notes, consisting of multiple horizontal dotted lines.

仕様

品名	エスプレッソコーヒーマシン【ラ・チンバリ】
型式	M21JU-S/1
タイプ	エスプレッソ + 蒸気 + 熱湯
外形寸法	幅 320・奥行 510・高さ 430mm (突起物を含む 奥行 580mm)
電源	100V 50 / 60Hz
電流	11A
消費電力	1.1kW
質量	31kg
ボイラータンク容量	2.5L
エスプレッソ抽出能力	160杯/h 30mL/1杯で2杯取りの場合
熱湯取出能力	7L/h (水温20℃の場合)
コーヒー抽出温度	約85℃
熱湯温度	約99℃
昇温時間	約20分 (水温により多少異なります。)
給水方式	貯水タンク式 (タンク容量3L)
電源コード	長さ 2m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付 属 品	エスプレッソ抽出容器 (2人用)	1 個
	エスプレッソ抽出容器 (1人用)	1 個
	エスプレッソフィルター (2人用)	1 個
	エスプレッソフィルター (1人用)	1 個
	粉計量スプーン	1 個
	粉圧縮器	1 個
	洗浄ブラシ (エスプレッソ抽出器洗浄用)	1 個
	エスプレッソ抽出器洗浄キャップ	1 個
	軟水器用ロート	1 個
	洗浄漂白剤「バブルクリーン 240g」	1 個
	六角棒スパナ (エスプレッソ抽出器の抽出口脱着用)	1 個
	取扱説明書 (本書)	1 冊

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

Oリング	パッキン	チューブ
粉計量スプーン	粉圧縮器	エスプレッソ抽出器洗浄キャップ
軟水器	軟水器用ロート	洗浄ブラシ
付属の洗浄剤	六角棒スパナ	—

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後5年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>